

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第 1 8 回相模原市在宅医療・介護連携推進会議				
事務局 (担当課)	在宅医療・介護連携支援センター 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 5 0 (直通) 医療政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 3 0 (直通)				
開催日時	令和 4 年 3 月 1 6 日 (水) 1 9 時 0 0 分 ~ 2 0 時 3 0 分				
開催場所	W e b 開催 及び ウェルネスさがみはら 3 階 集団指導室				
出席者	委員	1 8 人 (別紙のとおり)			
	その他	3 人 (民間事業者)			
	事務局	1 0 人 (地域包括ケア推進部長、在宅医療・介護連携支援センター 所長、外 8 人)			
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数	1 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由					
議 題	1 開 会 2 議 題 (1) 会長の選出について (2) 多職種連携ネットワークシステム M C S について (情報提供) (3) 各部会の報告 ・ 連携体制等に関する部会について ・ 高齢者救急に関する部会について (4) 人生会議リーフレットについて (報告) (5) 在宅医療・介護連携事例等発表会について (報告) (6) その他 ・ 中山間地域の持続可能な医療のあり方の検討について (情報提供) ・ アウトリーチ事例検討会について ・ 令和 3 年中における救急の概要 3 閉 会				

議 事 の 要 旨

(1) 会長の選出について

委員の互選により、佐藤委員を会長に選出した。

(2) 多職種連携ネットワークシステムM C Sについて (情報提供)

多職種間の情報共有ツールについての検討を進めるための勉強会として、参考のために多職種連携ネットワークM C S (メディカルケアステーション) について民間事業者からの説明を受けた。

(佐藤会長) 今のところ無料とのことだが、今後も無料で継続できるか。

(民間事業者) 有料化の予定はない。有料化する場合は、事前にお知らせする。

(佐藤会長) 初めてコミュニケーションをとる人もいるが管理できるか。

(民間事業者) 管理者を設定することができ、管理者の承認が無いと入れない。

(澤野委員) 過去の記録は見直すことができるか。

(民間事業者) ログで保存したのを見るのが可能。

(大塚副会長) 特養の施設で現在M C Sを使用している。嘱託医師と看護師や協力医師と情報共有ができ、M C Sが役立っている。以前は、外来中の医師へ手書きのF A Xで確認や情報共有をしていた。ログで過去のものも見られるため、医師や看護師のやり取りを管理者も確認できている。

(佐藤会長) 栃木、京都、埼玉が県医師会で採用実績があるが、医師会主導でなければいけないか。また、都道府県医師会単位の利用になるのか。

(民間事業者) 医師の指示に限らず利用できる。介護支援専門員や訪問看護師など、横の連携で広がっている。医師会のI T担当医師から広がるケースや在宅医から口コミで広がるケース等様々である。

(佐藤会長) 紙や対面の連携からの移行は可能か。

(民間事業者) 大阪市の薬剤師会ではペーパーレス化がきっかけとなり使っている。議事録の共有、タイムラグが少ない、直ぐに可視化できる等のメリットがある。チャットツールもある。他のものと比較してご検討いただければと思う。

(佐藤会長) 市の情報共有ツールについて、この会でも考えていきたい。

(3) 各部会の報告

- ・ 連携体制等に関する部会について

資料をもとに佐藤部会長による部会の報告が行われた。

質疑、意見なし

- ・ 高齢者救急に関する部会について

資料をもとに水上部会長による部会の報告が行われた。

質疑、意見なし

(4) 人生会議リーフレットについて (報告)

資料をもとに事務局から報告を行った。

(佐藤会長) 良くできている。話合えないうちに急変するケースがあった。誰かが背中を押さないと始まらない。早めにリーフレットを提示し、人生会議を勧めていきたい。

(5) 在宅医療・介護連携事例等発表会について (報告)

資料をもとに事務局から報告を行った。

(佐藤会長) 専門職を対象にした研修のため公開はできない。報告書では伝わり難いが中身の濃いものだった。アンケート結果から、これまでと類似のテーマで開催する方向でよいと思う。

(6) その他

- ・ 中山間地域の持続可能な医療のあり方の検討について (情報提供)

資料をもとに事務局から報告を行った。

(佐藤会長) 赤字額は年々増加しているのか、減少しているのか。

(事務局) 人件費などの経費が必要なので、受診者が減ると赤字額が増える。

(佐藤会長) 人材の確保も難しいのではないかと思う。

(事務局) 医師や看護師だけでなく、医療事務などの人材の確保も困難な地域である。

- ・アウトリーチ事例検討会について

資料をもとに事務局から説明を行った。結果をとりまとめ次回報告する。

(佐藤会長) 対応困難ケースについて勉強になった。引き続き実施していただきたい。

- ・令和3年中における救急の概要

資料をもとに事務局から説明を行った。

質疑、意見なし。

以 上

相模原市在宅医療・介護連携推進会議委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	今森 淳子	地域包括支援センター		出席
2	大塚 小百合	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	副会長	出席
3	斉藤 正和	相模原市医療ソーシャルワーカーの会		出席
4	佐藤 隼	相模原地区訪問リハビリテーション連絡会		出席
5	佐藤 聡一郎	一般社団法人相模原市医師会	会長兼 部会長 1	出席
6	澤田 弘之	公益社団法人相模原市薬剤師会		出席
7	澤野 将文	相模原市介護老人保健施設協議会		出席
8	田代 真士	相模原市小規模多機能型居宅介護事業者連絡会		出席
9	田中 雄一郎	公益社団法人相模原市歯科医師会		出席
10	土田 陽子	さがみはら介護支援専門員の会		出席
11	中野 太郎	公益社団法人相模原市病院協会		出席
12	久松 信夫	学識経験者（桜美林大学）		出席
13	日高 明夫	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会		出席
14	廣瀬 憲一	公益社団法人相模原市病院協会		欠席
15	細山 賢太郎	地域包括支援センター		出席
16	水上 潤哉	一般社団法人相模原市医師会	部会長 2	出席
17	八木 克介	相模原市認知症高齢者グループホーム連絡会		欠席
18	矢口 君代	地域包括支援センター		出席
19	吉澤 明子	相模原市訪問看護ステーション管理者会		出席
20	渡辺 加代子	公益社団法人神奈川県看護協会相模原支部		出席

（敬称略、50音順）

- 1 連携体制等に関する部会
- 2 高齢者救急に関する部会